

令和7年度第2回長浜市地域公共交通会議・ 長浜市地域公共交通活性化協議会 会議録	
日 時	令和7年10月10日（金）9：15～11：25
場 所	長浜市役所本庁舎5階 5-B会議室
出席者	<p>出席：会長、江畠委員、喜多畠委員、福島委員、尾崎委員、引山委員、 条委員、野村委員、池田委員、角川委員、西村委員、北村委員、 木下委員、山下委員、塚田委員、北川委員、服部委員 （以上17人）</p> <p>欠席：鈴木委員、三崎委員、川口委員、松尾委員、奥田委員 （以上5人）</p> <p>傍聴者：3名</p> <p>事務局：都市建設部 横尾部長、久保田次長、都市計画課 益田課長 交通対策室 雨森室長、佐野係長、森副参事、日比野主事</p>
【司会：益田課長、説明：雨森室長、日比野主事】	
■会議録	
1 開会	<p>会議成立の報告</p> <p>あいさつ 横尾都市建設部長（内容省略）</p>
2 協議事項	<p>（1）乗合タクシーの運行時間の変更について</p> <p>【事務局】</p> <p>資料に基づき説明（内容省略）</p> <p>【委員】</p> <p>特に今、木之本地区では、小中学校の利用が時間帯でずれることがある。その時に、バスは要らないが、デマンドタクシーがあればよい時がある。総合的に、いろいろなところで住民が便利に使うことができるようにならないか。</p> <p>【事務局】</p> <p>放課後児童クラブの利用については、現在、浅井地域で一部ご利用いただいている。小学校から放課後児童クラブがあるところまで利用いただいている。今回の時間短縮については、放課後児童クラブへの送迎には影響のない時間になるため、提案している。</p> <p>今回の見直しは、夜間の利用頻度が少ないところの見直しであり、市民の方にはどのように移動していただくか、その都度見直しを進めたい。交通とは生き物であると考えているので、その時に応じた最善の策を模索していきたい。</p> <p>【委員】</p> <p>特に来年度4月から伊香具小学校と木之本小学校の統合ということもあり、再来年以降高時小学校も合併する。そうなると、小学校も中学校も1個しかなくなり、通学でその間を移動されるようになるため、この辺りがうまくいくように、何とか学校との話し合いをしていただき、安全に通学できるような形をとってほしいと思う。</p> <p>【事務局】</p> <p>現在、小学校の統合については、通学用のバスを出されると聞いているので、一定通学の手段は確保されていると認識している。</p> <p>【委員】</p> <p>今の夜の時間帯の利用を見ていると、ほぼ同じような方が利用されているのではないかと</p>

思う。その方としては、利用している以上、不満に感じると思う。その不満を乗務員さんが対応されることになるかと思うので、乗務員の確保などについて理由をきちんと説明して納得いただけるようにしていただきたい。

【会長】

利用者の実態は把握しているのか。

【事務局】

頻繁に利用している方は把握している。そのため、周知期間を長くし、理解を得たい。

【会長】

今後の手続きの過程としては、今回協議事項として挙がっているので、ここで協議を調べるという形になると思うが、決定自体がこの会議体なのか。それとも、市長決裁となるのか。

【事務局】

市長の決裁をとり、確定することとなる。

【会長】

利用者の個別事情まで把握したうえで補助を対応するのかという議論もありつつ、通学、通勤上やむをえず必要な手段として、必要に応じて公共交通で対応をしていくということも大事である。福祉で対応するのか、事業所や学校で対応するのかなどを協議しておくことも重要かと思う。その辺りの周知と了解を得ておくべきだと思うので、よろしくお願ひする。

【会長】

その他、ご意見、ご質問があればお願いする。

～異議なし～

【会長】

ないようなので、協議事項1については協議が調ったものとする。

(2) びわ地区乗合タクシー「9 北富田」停留所の移設及び名称変更について

(3) 湖北地区乗合タクシー「40 富田人形会館」停留所の移設について

【事務局】

資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

ご意見、ご質問があればお願いする。

～異議なし～

【会長】

ないようなので、協議事項2及び協議事項3については協議が調ったものとする。

(4) びわ地区乗合タクシー「南 23 虎姫駅」停留所の新設について

【事務局】

資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

確認だが、今年度時点でびわ地区のデマンドタクシーは、虎姫駅は停まらないということか。

【事務局】

びわ地区は虎姫地区と接続する停留所がない状態で、びわ地区の一番東側の停留所から虎姫地区の西側の停留所まで歩いていかないと、乗継ができない。

【会長】

他にご意見、ご質問があればお願いする。

～異議なし～

【会長】

ないようなので、協議事項4については協議が調ったものとする。

4 その他

(1) デマンド型乗合タクシー運行事業における運行形態等の見直しについて（中間報告）

【事務局】

資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

今後のスケジュールとしては、どのように進めていく計画か。

【事務局】

先ほどご協議いただいた停留所の移設などについては、目標としては令和8年4月1日というところであるが、料金の見直しについては、他の公共交通機関とのバランスをとるというところと、公共交通機関としての使命の部分、それと、実際にはタクシーでこれだけかかっているという負担割合の部分を鑑みての料金設定となるため、庁内でもしっかりと、もう少し詰めた議論が必要と考えている。時期的には来年度中に実行できればと思っているが、4月1日スタートは、現実的に周知も含めて難しいと考えている。

【会長】

今後どのような形での協議を進めていく計画か。

【事務局】

庁内で素案を作成し、改めて、こちらの会議でご意見いただく流れで進めていきたいと考えているので、金額が先走りするということはない。おおよそターゲットとしては、来年の2月に令和7年度の第3回公共交通会議を開催予定のため、この会議の際に、新料金体系を諮りたいと考えている。

【会長】

事業者などについては逐次実情を踏まえつつヒアリングをされていると思うが、それ以外の地域の方、福祉や教育など諸団体については、協議やヒアリングなどはされているのか。

【事務局】

現時点ではそこまで具体的な協議や話をしに行ってはいない。

【会長】

今後する予定はあるのか。

【事務局】

ひとまず、長浜市の案としての方針をしっかりと決めてからと考えている。

【会長】

生活実態や利用実態を踏まえずに決まったもので説明していく形は、進め方としてはいかがなものかと思うので、市民の負担の実情をどのように把握していくのかというところは大事な部分だと思う。決まった後に説得しに行く形の協議はおそらくないだろうとは思うが、丁寧に進めていく必要がある。特に、公共交通という面と福祉的な面について、どこまで公共交通でカバーして、そこからは福祉でカバーするのかという線引きが曖昧になってしまふと、どうしても全てが公共交通にのしかかってしまうということになるので、福祉部門とは話をしておく必要がある。

区域外については、「利用者は多いが、負担割合が非常に低い」ということが実証実験の結果として出た。この実証実験の結果を踏まえた適正な価格の設定が必要になるため、利用者の方なども含めて、より丁寧な説明をお願いしたい。

【事務局】

乗り継ぎしないで行けると便利だが、乗り継ぎしていただくことで、それぞれの事業者の持続的な経営が可能になると思う。その辺りを丁寧に進めていきたい。

【委員】

今回の報告の後、次回の令和8年2月の会議にはもう金額が出てくる、というのは、個人的にはあまりにスピーディーすぎる。また、地域の範囲や人口が違うのに、同じような金額を出してしまるのは違うような気がする。西黒田地域はそれほど人口が多くない。人口が多

い地域の運行回数とは、差があると思う。一概に運行回数のみで判断して、次の会議の時には金額が出来てしまったうえで話し合うことになると思うと少し怖い。

【会長】

2月で決まりというわけではないと認識しているが、来年度中に改定ということなので、議論がまだ足りないということであれば、引き続き継続審議という形になっていくとは思う。だが、まずどれくらいの金額かということを提示していただかないと、次の話に進めない。

【事務局】

2月で決まりというわけではないと思っている。来年度中に改定と思っているので、議論が足りなければ更に審議が必要である。バックデータの点は、人口についてはおっしゃる通りかと思うので、これに限らずわかりやすいデータを出していきたい。区域外については料金を分けようかと考えているので、種類を増やすという議論もある一方、料金の種類が増えると、今度は事業者側に負担がかかる。一旦事務局で検討のうえ、2月に一度見ていただきたい。

【委員】

この会議に出て、事業者の負担も大きいと思う反面、市民としては大変である。

【委員】

そもそも概念性の問題として、バスの場合は負担割合がどれだけかは、利用者はわからない。逆に、乗合タクシー業務は、「一般のタクシーに乗ると5,000円のところ、デマンドタクシーだと300円ないし500である」という認識であり、格安であると感じる。バスは距離が延びると料金が上がる所以、それ相応の負担をしてもらわないといけない。300円が500円に上がったとなると、市民の感覚としては高く感じるが、もともと2,000円かかっているということを利用者に説明すればよいと思う。

【会長】

ただ、一方で、バスを廃止してデマンドに置き換えるということだと、近距離の場合はタクシーのようにはいかないと思う。距離に応じたデマンドタクシーの料金設定をしている自治体もあるため、事務局には調査研究含め、進めていただきたい。

【山下委員】

実際、タクシーに乗ると、初乗り500円は払っていかないといけない。バスや電車にも最低限支払う金額は決まっている。そこから、距離と時間によって加算していく形式である。ここからここまで運行しているというような、長浜市の路線地図のようなものがあれば、数字の羅列よりもわかっていていただけると思う。どのように乗り継ぐと、料金がいくらになり、タクシーに乗ったらいくらかかるというのを示せば、適正価格はご理解いただけると思う。本当に安いのか高いのかということと、今の時代に合っているかどうかということが見やすい形にしていただけだと、良い資料になると思う。

【事務局】

まさに今いただいたご意見のとおり。実際にはいくらかかっているというのが見えにくい。市民の目に見える形をマップなり図なりで感じていただけるように、周知していきたい。その際にはご助言などいただきたい。

【会長】

次回以降に向けての宿題ということで申しあげておきたいのだが、今回の資料2枚目、3枚目は、要するに公平性の話の資料だったと思う。この視点は大事であるし、これをわかりやすい形で示していくことが大切である。しかし、この視点だけではなく、市民や関係団体に理解を得るために、この資料だけではなく、市の財政がどれだけ負担しているのかというマクロの資料も必要だろうと思う。また、事業者の持続性や継続性を考えたときに、このような課題があるので見直しを提案したいという資料があるとよい。更に、利用者の視点だと、福祉や教育でどのようなケアをするのかという説明も必要である。それぞれの立場を鑑みた提案資料を作成していただき、主体ごとの課題整理を併せてしていただきたい。

【事務局】

行政側の事情で最も大きいのは予算である。地域公共交通を守るために、市としては多額の予算をつぎ込んでいる。市の財政状況は、余裕はないというのが実情である。地域公共交通の必要な予算はしっかりと確保したいという思いはもちろんあるが、受益者負担の原則として、どこまで利用者に負担いただくのか、利用者側の視点に立つことと、持続可能な行政運営のバランスも含めて、出せるだけの資料を検討し、次の会議を進めたいと思う。

(2) 長浜市総合計画の策定について
政策デザイン課にて説明。(内容省略)

【事務局】

次回の会議については、2月頃を予定しているが、事務局案として2月20日（金）の午前中を予定している。皆さまのご都合はいかがか。

【事務局】

特にご意見等がないようなので、この日程で進めさせていただく。もし不都合あれば後ほどでも教えていただきたい。詳細については、また改めてご案内する。

7　閉　会

(終了)